

演題 1 「障がいに負けるな・・・!」

私は、一歳半頃に、高熱により聴覚を失った。成長するにつれ、「耳が聞こえないのは、なぜ・・・！」と、母を責めた。ろう学校寄宿舎での生活は、楽しい事あり、辛い事あり、寂しくもあった。野球部は、できたばかりで、皆、ルールも知らなかった。投げるフォームは全然ダメ、サインを教えても、直ぐに忘れる。他の学校と試合をしてもボロ負け・・・、「オシ！」「ツンボ！」と馬鹿にされた。悔しくて、練習量を二倍に増やすが、難しい技術をマスターする事は大変だ。雪が積もったグラウンドを裸足で走り、真っ赤に腫れてポンポンになった。暗くなってボールが見えなくなるまで泥だらけになりながら、辛い練習に耐えた。努力の甲斐あって、皆、少しずつ上達していった。野球ができるようになると、楽しくなって、勉強よりも野球に励んだ。他校と対等に試合ができるようになり喜んだが、そんな時、思わぬ知らせが入った。福井県大会で優勝したのに、地方大会(北陸)・全国大会には出場出来ない！！！知らせを聞いて、皆、ビックリ！悔しい...不満...怒り...！これが社会問題となり、マスコミが大きく取り上げ、新聞やテレビを賑わした。ろう学校関係者、福祉団体などの支援が、世論を動かし、高野連の規定が改定され、出場が認められた。(全国高校軟式優勝野球大会・昭和49年8月・大阪・藤井寺球場)皆、飛び上がり涙を流して喜んだ...。同じ人間として当然だ！この出来事は、障がい者や差別問題の壁を破る歴史に残る快挙であった。全国からの暖かい励ましと、ご支援頂いた方々に、心から感謝しています。



差別問題勃発のセブンティーン掲載記事です

演題 2 「明日への希望」

私は、小さい頃から絵を描くのが好きで、ろう学校在学中も自分で油絵を描いていた。

40年も前は、ろうあ者が大学で講義をうけられる支援体制が整っていなかった。

知人や親の勧めで陶芸の道に入った。

耳が聞こえないから、師匠の言う事や先輩達の会話も分からず、一人取り残された気持ちだった。師匠の手元を見て自分で覚え、書物を読んで学んだ。

轆轤(ろくろ)をして作品を作る時、手や指のやり方が違うと、三尺の物差しで、ぴしゃん！と叩かれる。

毎日、毎日、同じ物を何百個も作るが、師匠が調べてダメな物は、全部、壊される。

轆轤(ろくろ)仕事で指先の皮が剥け、爪は磨り減って血がにじみ、痛くて風呂にも入れない程であった。

「土揉み三年！」と言い、土を揉む事も、一人前になるには3年かかる。

作品が出せるまでには十年以上も必要だ。

しかし、陶芸技術を、みっちり仕込んでもらったお陰と辛抱の甲斐あって、修行を終え、大量生産の窯元に移る。

そこでは、陶器を作る傍ら、デザイン開発を任せられ、形や色を考え出し、ヒット商品がたくさんできたが、自分が考案した物は全て会社の名前で売り出される。

自分の作品が作りたい…もっと研究したい…。

何度もそんな思いに駆られ、やっと、平成元年、念願の独立を果たし、

「ほたる窯」を開窯した。

芸術の道は厳しいけれど、努力して徐々にファンが増え、人々の心を癒せる作品を創り続けている。

「夢あかり」は、エイズ患者達の希望の命の灯火となった。

目標や夢を持ち、そこに向かう途中は苦しいかもしれないが、

諦めずに、やり続けるなら、必ず、道は開けると信じる。

聞こえない事！病気！家庭！仕事！経済苦！そして、痛ましい被災…！

どんな人々にも色々なハンディがあるだろう、

それぞれの立場で、それぞれの条件の中で、

一生懸命に前を向いて生きて行く事が大切だと思う。

自分に負けないで、そして、諦めずに！

希望を捨てずに・・・「明日への希望」



夕陽

今日の日は
沈んでも
必ず又
日は昇る
希望を捨てずに....

明日への希望

越前の土の持ち味を生かし、伝統を重んじた
その中にも新しい風を吹き込んだ
暖かい作品創りに日々精進致しております
使うほどに味の出るこの“やきもの”が
”鑑”的なようす
皆様のお心に明かりを灯し、ねくもうをお届け出来れば幸いに存ります。

越前焼 ほたる窯

〒916-0273
福井県丹生郡越前町小曾原90-52
TEL・FAX 0778-32-2719

陶芸家
福嶋伸彦

経歴

1957年 福井県鯖江市に生れる
1959年 高熱により一才半で両耳の聴覚を失う
1964年 福井県立ろう学校小学部入学
1974年 ろう学校野球部が特殊学校差別問題を克服し
「もう一つの甲子園」
全国高校軟式野球大会出場
投手としてマウンドを踏む
《音なき白球》
1976年 福井県立ろう学校高等部
木工産業科卒業
福井県丹生郡織田町
(現・越前町)
1979年 北野七左衛門氏に師事
福井県丹生郡宮崎村
(現・越前町) 古川陶苑に勤務
福井県総合美術展入選
1981年 国際障害者年総理府海外派遣県代表としてアメリカ視察研修
ニューヨーク・ワシントン
ボストン・サンフランシスコ
1983年 東海TVすばらしきパートナー
「陶芸村の若夫婦」と題して放映される
福井県丹生郡宮崎村
(現・越前町) に開窯する
越前焼《ほたる窯》と命名

1989年 越前陶芸協会展出品
(県立美術館)
1990年 以降奇数年出品(池袋西武展・
アメリカ展・etc)
1991年 県内 初個展
1994年 東海TV《ふるさと紀行》
「越前・窯ぐれ夫婦」と題して放送される
1997年 NHKドキュメント
「焼きものに夕陽が輝くとき」と題して放送される
スイスにて個展(チュウリッヒ
・ロカルノ・ベルン・
リビテンシュタイン)
金沢市「犀川画廊」にて個展
宮崎村文化奨励賞受賞
奈良市にて個展
2001年 アメリカ・ニューメキシコ州
オールドサンタフェ
にて個展
同・アメリカ個展
島根県浜田市にて個展
2003年 愛知県春日井市にて個展
2004年 兵庫県伊丹市にて個展
2005年 銀座「兜屋画廊」にて個展
2007年 文化庁事業・講師《ろう学校》
～
2009年
2011年 長野県松本市・富山県高岡市
にて個展・県内個展